MD050_SPF_COI_001　生産物流からの受入	説明: 生産物流システムの出庫データ(出荷依頼)を営業システムにて受入します	作成日	2008/06/05	作成者	ORACLE 原島	更新日	2009/03/17	更新者	SCS 森山	Ver.	Issue3.0

処理概要

工場から出荷されたデータを以下ステップで営業システムに受入れます。
①生産物流の出荷済データを入庫情報一時表へ抽出、挿入する。
②入庫未確認リストを出力する。
③入庫確認画面にて、入庫内容を確認し入庫情報一時表を更新する。
④確認済みデータを取引OIFへ取込、資材取引を作成する。
⑤作成された資材取引の取引内容を確認する。

システム利用者

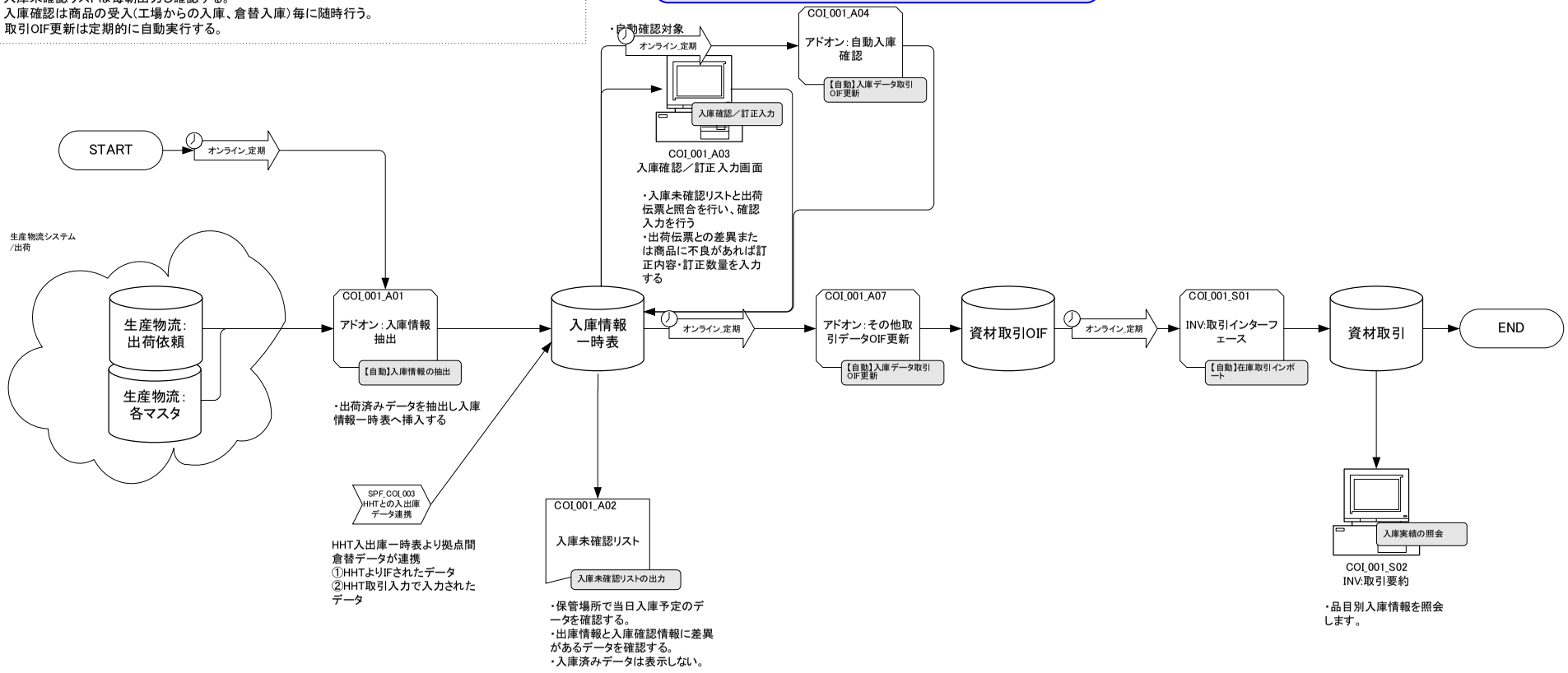
拠点_内務担当者

処理タイミング、その他

入庫情報抽出は、起動時間を設定し定時実行する。(実行時間、実行間隔等の運用は未定義)
入庫未確認リストは毎朝出力し確認する。
入庫確認は商品の受入(工場からの入庫、倉替入庫)毎に随時行う。
取引OIF更新は定期的に自動実行する。

システムプロセスフロー記入時の注意事項

・機能単位(標準機能含む)で記入すること
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

CONFIDENTIAL　株式会社伊藤園　日本オラクル株式会社
Copyright © 2008, Oracle All rights reserved.